

暑中お見舞い申し上げます。日頃より皆様には大変お世話になりありがとうございます。市議会の6月定例会が行われ、私は今回初めて一般質問をさせていただきましたので、その内容をご報告します。今回の議会から『一問一答』方式に移行する試みも始まりまし、9月議会からは『インターネット中継』も始まります。・・・それでは『6番 政和クラブ 杉山元則です。議長のお許しを頂きましたので、通告にもとづいて3項目を分割方式で質問させていただきます。』

## 高齢社会について

わが国は世界に例のないスピードで高齢化が進んでおり、平成26年には国民の4人に1人が高齢者という超高齢社会が予測されています。(中略)「自助、共助、公助」という言葉があります。「自助」は個人や家族の助け合い、「共助」は地域の助け合い、「公助」は行政の支援です。この3つがバランスよく組み合わせられた時、理想的な社会保障が実現します。特に「共助」地域の助け合いを育てることが重要な課題になると思います。そこで、例えば空き家や商店街の空き店舗を借り上げ、常時近所のお年寄りや子供が集える「たまり場」をつくり「共助」を実現し易くする事が必要と考えます。

★「ボランティアハウス」や「たまり場」など「共助」に対しての行政支援は何があるのかお尋ねします。

☆答. ボランティアハウスは現在64ヶ所ありますが常時開設型の拠点はありません。管理者の配置など運営体制が整えば常時開設も可能です。活動規模の大きな団体は市から支援金を交付しており、その他の団体は市社会福祉協議会が助成しています。地域に密着した活動拠点を推進していただけるよう市もバックアップしていきたいと思ひます。

※ボランティアハウスとは、地域の高齢者や体の不自由な方、子育て中の方などが定期的に集まり、楽しく交流することを目的とした市社会福祉協議会が支援する参加型活動。近隣ケアは市高齢福祉課が支援する訪問型活動です。



## 不登校について

岐阜県の不登校生徒数は岐阜県教育委員会資料より調べますと、平成19年度県内公立小学校で482人(256人に1人)中学校で2,009人(30人に1人)となっております。中学校で不登校が急増する、いわゆる『中1ギャップ』と呼ばれる現象が見られます。県全体で平成18、19年と中学生の不登校が増加傾向にあります。(中略)

★市内小中学校不登校生徒数の推移と不登校になった原因をどうお考えかお尋ねします。

☆答. 本市においては、平成17年度ピーク時から、減少傾向にあります。不登校の原因については、人間関係を形成する能力が弱くなっていることや、幼少時から人と関わることを苦手とする児童が増えてきています。また、学習についても、周囲に相談して課題解決に向かうことができず「無気力・不安」から不登校になる傾向も多く見られます。

市は不登校対策を主に地元の小中学校と適応指導の「あすなろ相談室」と学力指導の「学習支援センター」で行っていますが、

★ひとりでも多くの不登校生徒を救う積極策をお尋ねします。

☆答. 今年度は全国でも初となる「テレビ電話教育相談会」を試験的に導入しています。教育委員会、学校、臨床心理士、病院のドクターの4箇所をテレビ電話でつなぎ、保護者が学校から直接専門家に相談できる画期的なシステムです。※現在はまだ試験的な導入で一部でしか設置されていません。成果が期待できますので継続的な活用が望まれます。



## スポーツ振興について

各務原市は「知・情・意」は全国の上位に位置しますが、「体」すなわち運動能力が全国平均レベルであります。運動をする習慣が身についていない子供も多いようです。小学生のスポーツ推進活動に大きな貢献をしているのがスポーツ少年団ですが、加入率が昭和62年の25.8%をピークに減少傾向で平成20年には17.4%とピーク時から8%の減少になりました。スポーツ少年団は体力や運動能力の向上は勿論ですが、コミュニケーション能力を養い、仲間作りを学ぶと言う大変重要な役割を担っています。

★小学生が加入するスポーツ団体にどのような支援や指導をしているかお尋ねします。

☆答. スポーツを通じた青少年の健全育成をめざし、スポーツ少年団本部へ補助金を交付して、子供たちのスポーツを楽しむ心を育む活動を支援しております。

スポーツ少年団員数の減少にはいろいろ考えられると思いますが、原因のひとつに、施設申し込みの親の負担があげられます。保護者が2ヶ月前に総合体育館に朝早くから並んで申込みをしていらっしゃるようです。子育て世代の親さんに、何時間も総合体育館の玄関前で待つのは、大変な負担になります。仕事も犠牲になりますし、学校に通う子供達を送り出す事もできなくなります。

★6月1日から市で申込みにアンケート調査をしましたがその調査結果、それを受けて今後の対策をお尋ねします。

☆答. アンケート結果は、朝早くから並ばねばならぬ反面、ほぼ確実に施設予約ができることから、約7割の方が、現行の先着順が良いと回答しております。当面は現行の先着順方式を基本として進めますが、施設によっては予約方法を変更することも検討してまいります。



## いきいきライフのご紹介



六軒南北親和会シニアクラブ様

健康づくりに参加しませんか。お待ちしております。  
＜クラブ活動の競技種目＞ゲートボール、クロック  
ーゴルフ、パタンク、クロリティの4種目  
＜期日＞毎週 月曜日～土曜日（雨天中止）  
＜時間＞午前8時～10時  
＜場所＞六軒神明神社境内  
＜会員数＞20名



駅前友愛会シニアクラブ様

平日の午前8時半頃から毎朝、公園の花壇手入れ、広場の清掃等を行い、その後クロックーゴルフを楽しんでいます。会員は20名程ですが常時14、5名の方が参加しています。雨の日は公民館でクロリティを行っています。又、毎月1回大会を開催、3ヶ月に1回誕生会を開催し、軽食を食べお互いの長寿を祝っております。

【杉山もとのり後援会事務所】〒504-0905 各務原市蘇原六軒町3丁目6番地 辻井ビル1F  
ホームページ <http://www.geocities.jp/sugi3980> 電話/FAX 058-383-2900